



市役所内で行われたLGBT
研修の様子

市民参加の歴史、国内初のアウトティング禁止を含む画期的条例、DV被害者への支援体制…市民の声がまちを変える実例を描く

ジェンダー平等のまちをつくる

東京都国立市の挑戦

太田美幸 編著

◆ジャンル:まちづくり/ジェンダー

東京都国立市は人口七万六〇〇〇人弱の小さな自治体である。市が設置する「くにたち男女平等参画ステーション・パラソル」は、全国の自治体に配置されているジェンダー関連施策の担当職員の間ではわりと知られた存在で、これまでに何度もメディアで紹介されてきた。

注目を集める理由の一つは、二〇一八年に国立市が施行した「国立市女性と男性及び多様な性の平等参画を推進する条例」にある。性的指向および性自認などの公表（カミングアウト）をするかしないかの選択は個人の権利であることを明記し、当事者の同意を得ずにそれを第三者に暴露する「アウトティング」を国内では初めて明確に禁止したもので、「パラソル」はこの条例にもとづく取り組みを推進するための拠点として開設された。加えて、この条例にはもう一つの特徴がある。DV（ドメスティック・バイオレンス、家庭内暴力）の被害者支援を重視していることだ。国立市を拠点に活動する「NPO法人くにたち夢ファーム Jikkaka（ジッカカ）」は、DVなどの困難な問題を抱える女性たちを制度の壁を越え

て支えることを目指し、二〇一五年に設立された。行政との密な連携によるその先駆的な取り組みが徐々に知られるようになり、今では全国各地から支援を求め女性を訪れる。Jikkakaとパラソルの活動は、現在の国立市のジェンダー平等施策を支える柱となっている。

こうした国立市の取り組みは、市民から寄せられる声によって形づくられたものだ。その背景には、「市民参加のまちづくり」の長い歴史がある。市民の声は、どのように行政を動かすか、まちを変えていくのか。そこに反映される市民と行政の関係とは、どのようなものなのか。ジェンダー平等に向けた国立市の挑戦は、まさにこうした問いに対する一つの答えを示している。

市民の声がジェンダー平等のまちをつくる。本書が描くのは、現在もなお進行中のその実例である。（おおた・みゆき）

ISBN978-4-7948-1282-7 2月上旬刊

四六並製 予二〇八頁 予二四二〇円

好評刊 スヴェンスカ・ヘムの女性たち
 (スウェーデン「専業主婦の時代」の始まりと終わり)
 太田美幸 二四二〇円

編著者 一橋大学大学院社会学研究科教授。専門は教育社会学、成人教育、比較発達社会史。著書「スヴェンスカ・ヘムの女性たち」、共編著「増補改訂版 ノンフォーマル教育の可能性」(以上新評論)、「ヨーロッパ近代教育の葛藤」(東信堂)、訳書ニューマン&スヴェンソン「性的虐待を受けた少年たち」(新評論)など。



自身がかつて入所していた児童養護施設の職員として働く本書の主人公(中央)。恩師である著者(左)とともに

安全で幸福なはずの「家」が「しんどい」。そんな子どもの一人だった青年を主役に「養護」の意味を問う教育ドキュメンタリー

大作物語

「家がしんどい」子どもたちを支える社会的養護のリアル

磯村元信

◆ジャンル:教育/養護

「貧困」と「孤立」が忍び寄る現代社会、過酷な家庭環境のなかで困難を抱え、「家がしんどい」という子どもたちが増加の一途をたどっている。本書は、そんな子どもたちを支える社会的養護のリアルを描いたものである。

本書の主人公・大作が、「差別を忘れない場所」として選んだ職場が児童養護施設である。そこは現代社会における別世界であり、そこに暮らす子どもたちは言葉にならない壮絶な過去や思いを抱えている。大作も小学生のころからいじめ、不登校、暴力、非行、児童養護施設への入所といった経験をしてきた。「読み書き」のできなかつた彼は二〇歳を過ぎてから定時制高校に入学し、そこで出会った教員とともに過去を振り返り、「自分史」を綴ることで「言葉」や「差別」に目覚め、未来に向けた夢や目標を抱くようになる。そして現在、自身がかつて入所していた児童養護施設の職員として、「血が繋がっていなくても家族」をモットーに、子どもたち一人ひとりとことごとく寄り添いながら「自分史」づくりを支えている。

「誰にとっても、独りで考え、問題に向

き合うということとはとても難しい。だから常に寄り添い、話を聞き、共感してくれる存在が必要となるが、子どもには触れられたくない部分や向き合いたくない部分もある。そういう部分にも目を配れる存在とされるか否かが、施設職員に求められている技量のように思える」と主人公は語っている。

「貧困」と「孤立」が広がる社会において、私たちは本書の登場人物たちから様々なことを学ぶだろう。特に、失敗や挫折の「当事者」が語る言葉は、不登校やいじめ、発達障がいや知的障がいなどといった教育課題に向き合うための多大なヒントを与えてくれる。そして何よりも、「家がしんどい」子どもたちに「ことごとく寄り添う」ことの大切さを教えてくれる。(いそむら・ものぶ)

ISBN978-4-7948-1281-1 3月上旬刊

四六並製 二四〇頁 予二四二〇円

さらば学力神話

(ほうず校長のシン教育改革)

磯村元信

三三〇円

好評刊

「困った生徒」の物語

(リアルな教育現場をのぞく)

磯村元信編

三三〇円

著者 1957年生まれ。都立秋留台高校校長11年、都立八王子拓真高校校長3年、学び直しや不登校の高校を若手のボトムアップで改革し、退学者を半減させる。NHK「クローズアップ現代」「ETV特集」で改革の実践が紹介される。現在、ほうず教育実践研究所代表。著書に「さらば学力神話」「困った生徒」の物語など。



地元企業の伊達重機が手がける水素ステーション。浪江町ではいま世界規模の「水素タウン構想」が着々と進行している

震災後14年、多重・複合災害により苦難を強いられ続ける住民の思いは今どこにあるのか。背景、復興状況、産業化の進展を注視

福島県浪江町／ 原発被災を超えて新たな「まち」をつくる

関 満博

◆ジャンル：地域産業／震災復興

二〇一一年三月一日、東日本大震災が発生し、翌三月一二日以降は福島第一原発で立て続けに爆発が起き、周辺住民は避難を余儀なくされた。地震・津波に放射能汚染が加わる多重・複合災害にみまわれたのは、太平洋東部沿岸地域では福島県浪江町のみである。

浪江町民の多くは二本松市方面に避難、立入禁止の「警戒区域」等が設定された。二年が経過した二〇一三年四月一日、年間積算放射線量により改めて「避難指示解除準備」「居住制限」「帰還困難」の三区区分がなされ、この枠組みが二〇一七年三月末まで続く。この間、町民の三分の二が仮設・借上住宅等に入居したが、二〇二〇年三月末にはそれら住宅の供用が終了。二〇二四年二月末現在、浪江町に住民登録している人の数は一万五〇七九人、うち実際の居住人口は一五％弱の二一八六人にすぎない。約一万三〇〇〇人は住民登録を残したまま、他地域で避難生活を続けている。

町域内に原発は立地しなかったものの、浪江町は第一原発の「バックヤード」として建設業、宿泊・飲食業等が大発展したのに加え、有力な製造業の進出もあつ

て長らく双葉郡最大の経済都市として人口を維持し、興味深い歩みを重ねてきた。それが多重・複合災害によって停止したのであり、人びとの苦難は想像を絶する。除染が進んだ二〇一七年四月以降は産業団地の造成や新たな企業進出も進み、農地も従前の二割にあたる約四〇〇haが回復している。ただし、町域の八割はいまだ「帰還困難区域」とされ、住民の帰還は進んでいない。数次の住民アンケートでは、およそ五割が「帰るつもりはない」と答えている。にもかかわらず住民登録数が減らないのは、人びとの希望と葛藤を表してもいよう。

本書ではこうした浪江町の歴史と現在を受け止めつつ、多重・複合災害からの復興の現状とその後を展望する。町ではいま大規模な国家投資が展開中だが、地元の人びとがそれを新たな契機として受け止め、自立的な産業化に結びつけられるような支援体制を整えることが肝要であろう。そこから人びとが暮らしやすい、豊かで新たな「まち」が形成されていくことを心から願う。（せき・みつひろ）

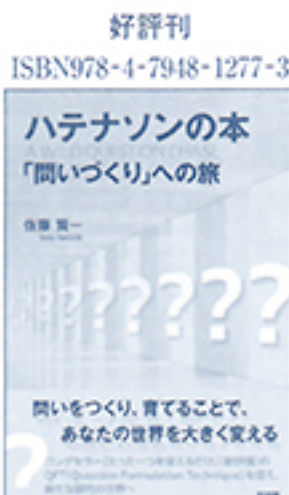
ISBN978-4-7948-1283-4 2月下旬刊
A5上製 予六七二頁 予九九〇〇円

著者 1948年生まれ。一橋大学名誉教授。博士（経済学）。『東日本大震災と地域産業復興』（全5冊）、『震災復興と地域産業』（全6冊）、『気仙沼／震災復興から「未来」に向かう』、『メイド・イン・ヒタチ 企業城下町日立地区と中小企業の未来』など著書・編著書多数。

ハテナソンの本

佐藤賢一

〔「問いつくり」への旅〕 教室、研究、仕事、日常生活に役立つ質問づくり。課題解決の最新・独自メソッド。四六並製 二二六頁 二四二〇円



好評刊

ISBN978-4-7948-1277-3

ハテナソンの本
「問いつくり」への旅

問いつくり、育てることで、
あなたの世界を大きく変える



日本のアタリマエを 変える学校たち

有澤和歌子

〔誰もがインターナショナルスクールで学べるように〕 自分子どもだけが幸せになれる世界はない。四六並製 一三六頁 二二〇〇円

〔タウンニュース(横浜青葉区版)〕紹介
ISBN978-4-7948-1268-1

日本のアタリマエ
を変える学校たち

あなたの子どもは
世界で生き抜けるか!
あなたの教え子は
どうだろうか?

教師の社会性

池島彰之

〔「世間知らず」と言われないために〕 教師が身につけるべき社会性とは何かを整理・確認し、「ベターな話し方」を提示。四六並製 一九四頁 二二〇〇円



好評刊

ISBN978-4-7948-1274-2

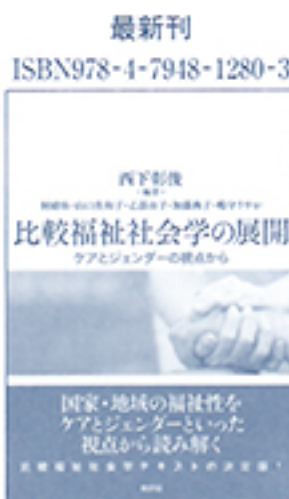
教師の社会性
「世間知らず」と言われないために
池島彰之

話すことって難しい!
そう感じた人へ

比較福祉社会学の展開

西下彰俊編著 / 何幼容 山口佐知子 乙部由子 加藤典子 嶋守さやか

〔ケアとジェンダーの視点から〕 国家・地域の福祉性をケアとジェンダーの視点から読み解く意欲作。A5並製 二五六頁 三〇八〇円



最新刊

ISBN978-4-7948-1280-3

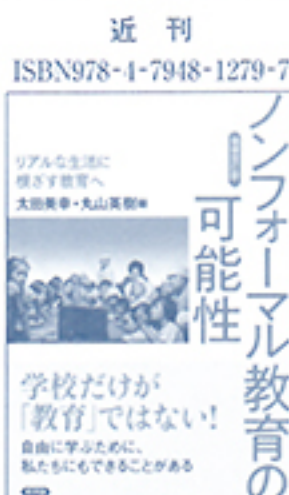
比較福祉社会学の展開
ケアとジェンダーの視点から

国家・地域の福祉性を
ケアとジェンダーといった
視点から読み解く

〔増補改訂版〕ノンフォーマル教育の可能性

太田美幸・丸山英樹編著

〔リアルな生活に根ざす教育へ〕 既存の教育観を超えた「別様の教育」の可能性を追求する試み。待望の増補改訂。四六並製 三四〇頁 三三〇〇円



近刊

ISBN978-4-7948-1279-7

ノンフォーマル教育の可能性

学校だけが「教育」ではない!
自由に学ぶために、
私たちにもできることがある

「ありがとう」の力

松本有貴編著

〔学校に笑顔をとどけるウェルビーイング日記〕 独自開発の日記で児童・学生の「よき生」の実現を支える教育実践。四六並製 二四四頁 二四二〇円



好評刊

ISBN978-4-7948-1273-5

「ありがとう」の力
Well-being

「困った生徒」の物語

磯村元信編

〔リアルな教育現場をのぞく〕 崖っぷちの子どもたちを支えるためのヒント満載の教育ドキュメント。四六並製 二六四頁 二二〇〇円



〔日本教育新聞〕書評
ISBN978-4-7948-1260-5

困った生徒の物語
リアルな教育現場をのぞく

なぜ、不登校が増えるのか!
なぜ、学校からドロップアウトするのか!

子どもとともにする「教育ドキュメンテーション」

白石淑江・山中健司編著

〔探究を深める保育実践〕 「あかつき保育園」の保育者と「小さい人(子ども)」との目をみはる保育革命。A5並製 一七二頁 二二〇〇円



好評刊

ISBN978-4-7948-1266-7

子どもとともにする「教育ドキュメンテーション」
探究を深める保育実践

子どもは創造する行為者、
保育者は共同探究者

離島の光と影

波名城 翔

「シマ」の観光と自殺」観光ブームに湧く離島を対象に、自殺予防対策の実態をインタビュー形式で紹介。



山谷をめぐる旅

織田 忍

訪問看護師として働きながら、この街の「生き死に」を見つめ続けてきた著者による同時代の記録。写真約120点収録。



新大学原論

岡山 茂・白石 嘉治

大学とは生のスタイルであり、だれもが無償で学べる場所への約束である。軌む文明の渦中で、その夢の糸を編みなおす。



私たちはどこにいるのか

ブルーノ・ラトゥール／川村久美子訳

「惑星地球のロックダウンを知るためのレッスン」人類再生の方途をコロナ禍の教訓から導出。畢世の渾身作。



執筆開始、その前に

大倉 幸宏

「悪文」を避けるための考え方。単なる書き方指南を超えて、物事の見方や心構えから問う直す悪文回避法。



「学校小説」の残光と残影

藤尾 均

「明治・大正・昭和の34編」鋭敏な作家の眼が捉えた「真実」の光が現代の社会・教育・文学を照らし出す。



飯田線に魅せられて

太田 朋子・神川 靖子

「線路は続く、どこまでも」一九五・七kmがつないだ「出会い」と「発見」。全線開通90周年に向け、旅が再び始まる！



知泉源氏 6

杉村 喜光

「完訳漫画『源氏物語』」「明石」続編。「閑屋」の本巻で、道長もかくやの情熱と葛藤を描く〈青春編〉堂々完結！



清水満 編著 『改訂2版 生のための学校——デンマークで生まれたフリースクール「フォルケホイスコーレ」の世界』

対話中心、社会性育む教育

■評者 井藤 元（東京理科大学教授）

本書は、デンマーク独自の教育機関である「フォルケホイスコーレ」を、創設者の思



国籍・年齢問わず、自由の「空気」を吸いに世界中から向学の人々が集まる（本書に体験記を寄せてくれた小笠原智子さん提供）

想や歴史的背景、授業内容など、さまざまな角度から丁寧に紹介した良書である。本書

は、約30年前に初版が出版されて以来、長く読み継がれてきたが、今回の改訂では新たにフォルケホイスコーレの校長へのインタビューと二つの留学体験記が追加されている。わが国において、フォルケホイスコーレの存在は注目されているものの、関連図書は決して多くないため、まさに待望の改訂といえる。

1844年にデンマークの

『日本教育新聞』2024年11月25日

思想家グントヴィの理念に基づいて設立されたこの学校には、満17歳半以上の人ならば、年齢や国籍を問わず、誰でも入学できる。また、入学試験も単位もなく、卒業時に資格が与えられることもない点に大きな特徴がある。「生のための学校」とも呼ばれる同校では、「書物よりも対話を中心に「生」そのものを学び、社会性を備える」ことが大切にされている。同国内に70校あるフォルケホイスコーレにはさまざまなカリキュラ

ムが用意されており、学校によってその内容は大きく異なる（長期コースに在籍する場合は、原則、寮生活となる）。

本書はフォルケホイスコーレを知る上での魅力的な案内書であるとともに、学ぶことそのものの意義や大人が学び続けることの意味について問い直す機会を与えてくれる。

〔改訂2版〕生のための学校

清水満 編著

〔デンマークで生まれたフリースクール「フォルケホイスコーレ」の世界〕 一八〇年以上にわたって続く「生きた言葉」の授業。四六並製 四〇〇頁 三三〇〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1270-4



本を売る

「ユビキタス社会」の「書店」(?)

いまの書店で働きはじめる前に、ある大手予備校で大学受験小論文の添削の仕事をしていたことがあって、そこで目にした課題文(講師の解説文だったかもしれない)で、不思議に印象にのこっているものがあります。ちなみに、受験人口の減少にともなって、私が見てきた予備校ではなく、いまはその予備校ではなく、なくなってしまいました。社会はほとんど変わっていきまます。

その文章の内容は、次のようなものだったはずですが、

お店でいろんな電子決済サービスが利用できるようになったり、自宅からでもインターネットで注文ができるようになったりして、みんな便利になったとよろこんでいるかもしれないが、お店で気に入ったものを手にとりて、ゲートを入れば自動決済される、あるいはわざわざ選んで発注しなくても自動的に必要なものが届くようになってこそ、真の「ユビキタス社会」と言えるのだ、と。

強度に富んだ、思いもよらない発想に驚いて、十余年を経た今も記憶している訳ですが(そして、

今となってはもはや「ユビキタス社会」も懐かしいことばですが)、しかし、幸か不幸か、いまだにそのような社会は到来しておらず、お客さんは自分の必要とする書籍を求めてご来店くださいます。そして棚をご覧いただいているうちに、探していたのはまた別の一冊との出会いが生まれてほしい、と思っただけのもの(これは書店員なら誰しも同じでしょうが)、実際には、棚の整理が行きとどいていないために、あるはずの本が見つからなかつたり、仕入れが不十分だったり、お探しの一冊すらも満足にご入手いただけぬこともしばしばです。

RFIDタグがもっと普及すれば、データ上は在庫があるのに実物にたどりつけないといった事態は減るのでしようし、ゆくゆくは「ゲートをくぐるだけで自動決済」になるのかもしれない。

変わらないために変わりつつける、ではないですが、いまの書店は継続・発展のために、さまざまな新素材を扱って利益を上げようとしています。それでも基盤に書籍があることに変わりはなく、新たな未知の扉をひらく一冊を届けるために、今日も店頭に立っています。

丸善広島店 森岡信幸

本誌表示価格はすべて税込です。

●書評 ●紹介 ●関連記事

書評日誌(10・5~11・25)

- 10・5 ④日本経済新聞(半歩遅れの読書術)『フクシマ・ノート』(黛まどか)
- 10・16 ④広報やわた(山形県酒井市)『さいごのさよなら』
④環境新聞オンライン『私たちはどこにいるのか』
- 10月 ④R6「読書ハードル」おすすめ本(福島市学校図書館研

- 究会)『ヴィンデビー・パズル』
- 11・10 ④NHK大河ドラマ・ガイド光る君へ完結編『知泉源氏 第1期(青春編)』完結
- 11・25 ④日本教育新聞『改訂2版 生のための学校』(井藤 元)
- [4月 ④季刊社会運動『脱原子力 明るい未来のエネルギー』(古沢広祐)]

「第57回夏休みの本(緑陰図書)指定
ISBN978-4-7948-1258-2



ヴィンデビー・パズル
ロイス・ローリー/島津やよい訳
『ギヴァー』で名高いベストセラー作家が、古代ゲルマン世界を舞台に描く異色の歴史ミステリー。
四六並製 二四〇頁 二四二〇円

「この本読んで」紹介
ISBN978-4-7948-1272-8



さいごのさよなら
E・ケルシー(文)/S・キム(絵)/光橋翠訳
「ありがとう、だいすき」って伝えて、ちゃんとお別れするために……エロロジ絵本シリーズ感動の完結作。
B5変上製 三三二頁 一七六〇円

本を読む

殺戮の世紀 1914-2014

私たちの世界は、第一次大戦以降100年以上にわたり、凄まじい数の人命を戦争の犠牲にし続けてきた。その総計は1億を超え、現在も毎年1万以上の人命が失われている。戦争を断念するという決断がどうしてできないのか。疑問は残ったままだが、豊富な地図・図解が理解を助けてくれました。(札幌市 会社員 横山隆 72歳)

山谷をめぐる旅

刑務所出所者支援に関する研究や精神看護学を専門としており、第6章とエピソードが特によかったです。(まったくの個人的な感想です)。(上越市 大学教員 船山健二 42歳)

「兵六」風を感じる「だわりの居酒屋」

初代の人となりと創業の背景が印象深かった。柔和そうで、それでいて反骨精神旺盛な三代目(筆者)の成長の記録でもあり、率直な描写が心地よかった。どんな店か興味津々で訪れてみたところ、素晴らしい居酒屋だった。現在シカゴ在住で頻繁には行けないが、

またぜひ行ってみたい。(石狩郡 教師 デイ典子)

さいごのさよなら

地球上の生命誕生から始まったシリーズの最後のテーマは、「死」。しかし、それは決して孤独なものではなく、仲間を寄り添う心と死者の置き土産が愛や生命のつらさを支えていることが描かれます。シリーズ4冊を読み終えて、科学的読み物でありながら、学習漫画のように手取り足取り解説するスタイルではなく、情緒的・美的に子どもの知的好奇心を養う構成となっているのが印象的でした。この絵本を手がかりに、子どもたちが自ら学ぶような授業を考えたいと思います。(香取郡 教員 小田茂雄 64歳)

好評刊

殺戮の世紀 1914-2014

(世界を変えた20の戦争) 四九五〇円
E・エシュト&P・セルヴァン 監修 / 義江真木子 訳
柴山雅都 二二〇〇円

「兵六」(風を感じる「だわりの居酒屋」)

柴山雅都 二二〇〇円

ワインデビュー・パズル

ロイス・ローリー / 島津やよい 訳 二四二〇円

さいごのさよなら

E・ケルシー(文) / S・キム(絵) / 光橋 翠 訳 一七六〇円

編集部から

震災後14年、今も3万人が異郷で避難生活を送る。その最大の要因が忘れ去られつつある。地震津波に加え放射能汚染にもみまわれた唯一の自治体、浪江町の人々はその思い、どこでどう暮らしているのか。関満博氏最新刊『福島県浪江町』、まちの歴史と現況を克明に伝え、私たちに重く激しい内省を迫ります。▼政界・芸能界の卑劣な性加害が次々と明かされ、SNSには日々加害者糾弾と被害者バッシング(セカンドレイプ)の両方が渦巻く。一時スマホを置いて「ジェンダー平等のまちをつくる」を読んでみませんか? 「この私にもなにかできるんだ」と勇気が湧きます。▼謹賀新年 今年こそ戦争もハラスメントも無くなりますように。

営業部から

- ▼直近3ヶ月(2024年9月~11月)弊社のアマゾン売上ベスト15をご紹介します。
- ①「NHKから国民を守る党」とは何だったのか?
 - ②たった一つを変えるだけ
 - ③感情と社会性を育む学び(SEL)
 - ④「学びの責任」は誰にあるのか
 - ⑤答えのない教室
 - ⑥ギヴァー 記憶を注ぐ者
 - ⑦東アジアの高齢者ケア
 - ⑧ひとつからはじめよう
 - ⑨虚構の「近代」
 - ⑩教科書では学べない数学的思考
 - ⑪スウェーデンの小学校社会科の教科書を読む
 - ⑫フクシマ・ノート
 - ⑬地球に降り立つ
 - ⑭ひとりじゃないよ
 - ⑮SELを成功に導くための 五つの要素

SBC(新評論ブッククラブ)のご案内

会員は送料無料で各種特典あり!お申し込みを!

当クラブ(一九九九年発足)は入会金・年会費なしで、会員の方々に弊社の出版活動内容を紹介する月刊PR誌「新評論」を定期的に送付しております。入会登録後、弊社商品に添付された読者アンケートハガキを累計5枚お送りいただくことで、全商品の中からご希望の本を1冊無料進呈する特典もございます。ご入会希望の方は本社HPフォームからお送りいただくか、メール、またはハガキにて、お名前、郵便番号、ご住所、電話番号を明記のうえ、弊社宛にお申し込みください。折り返し、SBC発行の「入会確認証」をお送りいたします。